

# 令和元年度知的財産活用研修[活用検討コース]実施報告

令和2年3月

令和元年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では、知的財産活用研修[活用検討コース]を実施いたしました。知的財産権活用に関する模擬的な事例について、経営的視点を含めてどのように知的財産権を活用すべきかを、研修受講者同士が検討することで、知的財産権を経営に役立てるための判断能力を醸成することを目的としています。

1. 研修の概要		
(1) 日程	11月29日	
(2) 開催地	東京都	
(3) 申込人数	9名	
(4) 参加人数	7名(聴講生1名含む)	
(5) 講師	4名	
2. アンケート結果		
(1) 研修全体として	人数	割合
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	5名	71%
・知識や能力が向上した (有意義であった)	2名	29%
・あまり知識や能力が向上しなかつた (あまり有意義ではなかった)	0名	0%
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%
・無回答	0名	—
(2) 主な意見・要望	・知財活用するに当たり、自社を理解する(SWOT分析)ことの大切さを知った。	
	・SWOTは何回か経験しているが、情報を上手く使っていくことの重要性を教えていただいた。	
	・色々な物の見方があることを改めて感じた。	
	・より戦略的に商品の企画段階から知財を意識することが重要と感じた。	
	・講師が携わった事例からの話は説得力があり、内容もわかりやすかった。	
(3) アンケート回収率	7名	100%